

# 一般入試前期B日程

## 国語

一

出典 宮本直美「ミュージカルの歴史」(中央公論新社 2022年)

19世紀以降のオペラが置かれていた状況、発展していく過程について述べられている文章です。聞き慣れない言葉もありますが、順を追って読んでいけば、理解できない文章ではありません。

問1【漢字の書き取りの問題】(解答番号 1 ~ 7)

a 新興、b 刺激、c 稽古、d 模索、e 徴収、f 挿入、g 機知、がそれぞれ正答です。同音異義語の問題が複数あります。g 機知を「既知」とした解答が目立ちました。文脈を把握して解答するようにしましょう。全問正答率は0%でした。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】(解答番号は 8)

空欄 I 以後の内容を押さえるとヴェルディが制度を整えようとしていたことがわかります。正答は②です。正答率は60%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】(解答番号は 9)

空欄 II を含む文章が比較を意図していることを読み取る必要があります。正答は⑤です。正答率は72%でした。

問4【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】(解答番号は 10)

空欄 ア は、直前にある「オペラ座は非日常空間を作り上げた」を言い換えています。正答は⑤です。正答率は58%でした。

問5【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】(解答番号は 11)

空欄 イ を含む段落冒頭に「一九世紀前半のオペラは市民社会の新たな娯楽であり」とあります。これがヒントです。正答は③です。正答率は42%でした。

問6【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】(解答番号は 12)

空欄 ウ を含む段落は「他方で」として始まります。つまり前段落が決められたものとして上演されるオペラであったことと対比されています。ここを押さえると正答は⑥です。正答率は7%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は 13)

正答は④です。成金の市民層がどのようなオペラを好んでいたのかをまとめた選択肢が正答です。正答率は50%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は 14)

正答は⑥です。傍線部Bの後の2段落の内容を整理して押さえる必要があります。正答率は64%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は 15)

正答は③・⑥です。受験生には難しかったようです。傍線部C直後の2段落の内容を丁寧に読めば正答を導くことができます。完全正答率は17%です。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は 16)

正答は①です。オペラの「芸術性」と「娯楽性」がどこの都市で発達したものを、押さえる必要があります。正答率は26%でした。

**問11【内容を理解して小見出しを選択する問題】**（解答番号は17）

正答は①です。オペレッタの発展を経年的に述べています。③を選択した受験生が多く見受けられましたが、そもそもオペレッタは「芸術性」ではなく「娯楽」として扱われています。正答率は76%でした。

**問12【内容合致問題】**（解答番号は18）

正答は②と⑥です。各選択肢の間違いの箇所を示しておきます。①「かつての宮廷オペラ」、③「ウィーンなどの中産階級」、④「ウィーンのジングシュピールのような複雑な歌を含んだ」、⑤「物語的にも音楽的にも強めたと一般的に」、⑦「同格の」、⑧「ビジネス基盤の事業とするために買い取り、旧体制の～」、以上となります。完全正答率は35%でした。

二

出典 松田壽男「古代の朱」（筑摩書房 2005年）

水銀およびその原料となる辰砂（朱砂、丹砂）について歴史的に述べられている文章です。本文を丁寧に読んで、水銀系のアカ、鉄系のアカ、鉛系のアカ色の各特徴を正しく理解しましょう。

**問1【漢字の書き取りの問題】**（解答番号は19～25）

a射、b堆積、c踏襲、d統治、e散在、f鎮座、g分与、がそれぞれ正答です。全問正答者は3%でした。前後の文脈からの確な語句を判断するようにしましょう。

**問2【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ問題】**（解答番号は26）

空欄 **ア** の前後の文章、および、第8段落「朱は元来が純粋なアカ色、そほにたいするまそほ」という本文から正答⑥を導けます。正答率は78%でした。

**問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ問題】**（解答番号は27）

空欄 **イ** 直前の「そのような」が指す内容を正しく理解しましょう。「そのような」が「隣接する丹生谷には水銀含有の母岩が露頭している」を指していることと、水銀の特徴を正しく読み解けば、正答①を導けます。正答率は56%でした。

**問4【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ問題】**（解答番号は28）

空欄 **ウ** を含む段落（第16段落）と同じ内容が第8段落でも述べられているという構造を理解しましょう。第8段落の内容から正答④を導けます。正答率は60%でした。

**問5【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は29）

正答は⑤です。第2～3段落の内容から「これまで調査されてこなかった……金属の存在」について言及していることが分かります。正答率は65%でした。

**問6【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は30）

傍線部Bの直前の内容から正答⑤が導けます。正答率は85%でした。

**問7【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は31）

正答は⑤です。傍線部Cを含む段落（第7段落）と第6段落を丁寧に読み、内容を正確に理解しましょう。正答率は75%でした。

**問8【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は32）

傍線部Dの直後「そのわけは」と続く文章から、正答②が導けます。正答率は70%でした。

**問9【文脈把握と内容理解に関する問題】**（解答番号は33）

正答は③です。傍線部Eの前「現地産の朱か、さして遠くないところに古代の朱産地が指摘される」がヒントです。また、傍線部Eを含む段落（第16段落）は第8段落と同内容を述べているという構成を理解しましょう。正答率は54%でした。

**問10【内容を理解して小見出しを選択する問題】**（解答番号は34）

正答は⑦です。朱砂の話を中心にいく導入の役割を果たしています。本文全体の構成からも判断しましょう。正答率は58%でした。

**問11【内容を理解して小見出しを選択する問題】**（解答番号は35）

空欄乙を含む段落では「古代の朱砂産地」、「古代の朱産地」と繰り返し記されていることから、正答②が容易に導けます。正答率は47%でした。

**問12【内容合致問題】**（解答番号は36）

正答は③と⑥です。正答③は第16段落、正答⑥は第14段落の内容とそれぞれ合致します。各選択肢の間違いの根拠を示しておきます。①「変化することなく」が誤り。②「古代から変わらず……赤と黄の中間色」が第5段落の内容と合致しません。④「金属ではない水銀」が誤り。「取引したりする例」は確認できていません（第3段落）。⑤「土蜘蛛征服」の話は『豊後風土記』所収記事です（第11段落）。⑦「金を含む母岩には必ず朱の存在」、「古代日本人は金よりも鮮明な赤にひかれた」がそれぞれ誤り。⑧「赭」という字は鉄系のアカに用いられます（第6段落）。⑨「国を超えた古代世界の信仰がうかがえる」という記述は本文中にありません。完全正答率は24%でした。